



原点は「どんな財宝より子どもは何よりも尊い宝」



3月16日(火)に、第2回運営協議会が開かれました。古屋ひとみ委員長を座長に話し合いました。それぞれの立場で貴重なご意見をいただきましたので紹介いたします。

センター長から「教育センターは重要な役割を担っている。センターとして何を行うことが児童・生徒にとって必要かを大前提として、富士河口湖町の教育課題や学校のニーズに応えた事業を行ってきた。特に今年は関係機関の協力を得て、防災教育に取り組むことができた。」という内容の経過報告、事業実施のまとめと課題について提案しました。

質疑応答では、教育現場からは、「教育相談(学校にいけない児童生徒並びに保護者の対応)でいろいろ関わっていただいた。」「学校以外にいける場所があることがありがたい。」「体験学習プログラムでとてもすばらしい体験を行なうことができた。役場見学DVDもよかった。」「防災教育の取組が始まるなど富士山学習が充実している。」「センターは学校を結び付けている。地域(住民)との結びつきもさらに深まっていくことを願う。」「理科の副読本はすばらしいものができ上がった。」などの声をいただきました。しかし、PTA代表の方々や有識者の方々から、「どのような活動をしているかよく知らなかった。」「地域の学校教育を支えている。感謝するとともにもっとアピールしたい。」「教育相談の大きな役割を担っている。もっとアピールしてほしい。」「不登校対応してくださっていることを知った。PTAとしても対応していきたい。」「学校に行きづらいといった声が聞かれたらセンターを紹介したい。」などアピール不足との意見が出ました。

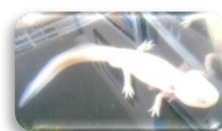
教育相談に関しては、「不登校の子も困っているが、親御さんも悩みを持っている。閉じこもっていると支援することができないので、外へ出ることが大切。」(一昨年は「子育ての不安や戸惑いが大きい保護者が増えている。そのことが子どもにも伝わっている。保護者への支援も大切である。」という声もありました。)

「学校でも取り組んでいるが、学校とは違う場があることはとても良い。」

「センターが行なっている教育相談、研修、不在となる教員の学級への派遣などの様々な活動は巡り巡って子どものためになっている。」という意見をいただきました。そのセンターを17名からなる運営協議会

相談件数(令和2年度)	3/17現在	
	実数	延べ
電話相談	9	9
来所件数	144	962
訪問相談	15	29
総相談件数	168	1000

が設立当初より見守ってくださっています。運営委員さん方からご意見をいただき、事業を推進していますので、この運営協議会の存在意義は大きいものです。今回、多くの方から話されたことは、「何よりも子どもが大切」ということでした。



私もセンターの一員です。私も卒業です。

1年8か月いて、17cm→27cm、大きくなりました

歳寶(ぞうほう)

「どんな財宝より子どもは何よりも尊い宝」

という意味で揮ごうされたと聞いています。教育センターに入ると右側の壁に掲げられ、ずっと、ずっと子どもたちだけでなく、来訪者・この教育センターを見守ってきています。(裏面に続く)



梶原憲十郎先生 書

1年間

ありがとうございました

センター長(梶原 斉)

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業や活動が制限される中、学校、関係機関との連携を密にし、「子どもを中心に据える」活動を大前提に置き、不登校をはじめとする学校不適応を示す子どもたちへの居場所づくり・学習支援・学校復帰に向けての支援、教育に関する様々な悩みへの教育相談、学力充実や新しい教育課題に対応するため、町内教職員の資質向上を目指す教職員の研究会等を中心に事業を展開してきました。また、今年度から本格実施された小学校英語科について、授業参観や研究会の実施等、課題改善に努める他、ケーブルテレビ河口湖と連携し、子どもたちが楽しめる英語番組の制作にも携わり、多くの成果を残してきました。

来年度も、子どもたちを中心に、安全安心、成長につながる取り組みを考え、町の教育課題やニーズに応えた事業を行っていきます。1年間ありがとうございました。

教育相談員(渡辺徳市, 山口真澄)

センターに通ってくる生徒は、明るい、元気がある、しっかりしているなど一人ひとり個性が違います。その中でも本人の得意な部分をより一層伸ばすために、相談や学習支援・交流活動を通して、その時々のおもいや考えに寄り添いながらいっしょになって取り組んできました。

日々の歩みは小さなものかもしれませんが、心や体にエネルギーをたくさん蓄えて次の目標に向かう子どもたちの前向きな姿に確かな成長を感じています。微力な私たちでしたが、子どもたちの輝かしい未来を切に願っています。

また、温かく見守ってくださった先生方や保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

小学校6年生・中学校3年生のみならず

保護者の皆様、心からお祝い申し上げます。

「子どもがいたから頑張れた。子どもとともに自分は成長できた。」こんな思いはありませんか。

卒業というのは寂しさとうれしさが混ざり、複雑な気持ちになります。でも、子どもの成長とともに大人も一緒に成長させられたということも忘れてはなりません。これは、大きな喜びです。これまで立派に我が子を育ててきた保護者の皆様と卒業生の皆様の御多幸と御健康を心からお祈り申し上げます。

英語教育支援スタッフ

(八色正代, 奥真理, 渡辺真祐子)

2年間の外国語科先行実施とは違い、今年度からは教科となった5, 6年生の授業を支援させていただきました。週2回の授業の内、最低1回はALTとともに支援しました。今年度からは新しい教科書になったうえ、コロナ禍で授業開始が遅れ、多少戸惑いもありました。授業ができない期間中に、河口湖CATV様のご協力を得て、エンジョイ・イングリッシュという子ども向け英語番組コンテンツも作らせていただきました。

これまで以上に担任の力が発揮されました。評価する担任と、どの活動で、どう評価するのか、また、評価をどう次の授業に生かすのか模索しました。中学年で週1回の外国語活動の積み上げがあるので、子どもたちの成長を感じました。発音もよく、良く伝えることを意識した発表に感動しました。6年生には中学校への準備も意識して支援しました。学級担任と職員の皆様に感謝しております

教育支援スタッフ(渡辺富美夫)

多くの学校に派遣で伺い、さらに体験学習プログラムでも子どもたちと様々な学習をしてきて、楽しく心に残る場面がたくさんありました。子どもたちの輝く目と笑顔にたくさん出会え、元気をいただき、幸せでした。素晴らしい子どもたちと温かく迎えてくださった先生方に感謝いたします。

本年度の教育センターの事業が充実したものになりましたのも、保護者の皆様、町当局、学校、関係機関等のご理解とご協力があったからです。改めて感謝いたします。次年度も引き続き、その責務を果たせるようがんばっていきたいと思います。ありがとうございました。



わたしに会えてよかった
胸の鼓動も ときめきも わたしがいて気づいた
だれも知らない音だけど
私の殻をやぶる音 今日からはじまる
何かいいこと

高村もと子「今日からはじまる」より